



謹賀新年

2025年 新年のご挨拶
印刷情報メディア産業労働組合連合会
中央執行委員長 佐藤正治



2025年の年頭にあたり、謹んで新春のご挨拶を申し上げます。印刷労連に加盟する構成組織の組合員とご家族の皆様、そして組合役議員の皆様には、健やかな初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃より、印刷労連の諸活動に対しまして、各段のご理解とご協力をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

昨年（2024年）の元日に発生した「令和6年能登半島地震」から1年が経ちました。その後には、復旧に向けて懸命な努力を続けているところに、9月には奥能登豪雨が被災地を襲い、甚大な被害拡大をもたらしました。改めて、亡くなられた方々へのお悔やみと、被災された方々に対し、心からお見舞いを申し上げます。労働組合は、相互扶助の精神にもとづき、被災された方々に寄り添い、今後とも出来る限りの支援を続けてまいります。

さて、労働組合の主要取り組みであります2024春闘は、連合では33年ぶりの5%台の賃上げが実現し、ステージ転換に向けた大きな一歩を踏み出すことができました。印刷労連も、額率において前年同時期比で大幅な上昇となり、11年連続の賃上げが実現できました。しかし、実質賃金を上回る物価上昇は、私たちの家計を圧迫し、生活が向上した実感は少ないのが現状ではないでしょうか。また、印刷労連では、ペーパーメディアの減少など、市場環境の厳しさから、賃上げ要求ができていない組織があります。2025春闘では、要求できない現状に対して、個別の事情をしっかりと把握しながら、組織に寄り添い、労働組合の存在意義を示す貴重な機会である春闘を連携して取り組める体制を整えたいと思います。そして、「賃金は上げていくもの」というマインドを醸成し、実質賃金が継続的に上昇することで個人消費を拡大し、賃金と物価の好循環を実現していく必要があります。印刷労連に集う組織の総意と決意で、2025春闘に取り組んでまいりますので、ご理解とご協力を宜しくお願い致します。

産業別労働組合の運動を推進する上で重要な産業政策は、2023年に大幅改定したことに加え、毎年行っている支援議員への「産業政策に関する要望書」の提出により、昨年は浜野よしふみ議員より、参議院の環境委員会において印刷産業の課題を提起いただきました。

これは小さなきっかけかもしれませんが、印刷産業の実情を政府に訴える大きな機会となりました。これを起点と捉え、今後は各構成組織から更に実態をヒヤリングしながら課題を抽出し、政府や行政からの支援につながる取り組みを進めてまいりたいと思います。そのためには、各構成組織の積極的な意見提言がなければ事は始まりません。業務を抱えながらの組合活動は負担も多くありますが、印刷産業の未来を次の世代に継承するためにも、ご理解とご協力を引き続き宜しくお願い致します。

なお、支援議員であります電力総連出身の「浜野よしふみ」参議院議員は、本年7月に任期満了を迎えます。既に、再選に向けて立候補を表明し、印刷労連は中央委員会で推薦決定しております。産業政策を実現するためにも、一人でも多くのご支援を宜しくお願い致します。

印刷産業の大きな課題である女性参画推進は、新たに設置したジェンダー平等推進委員会の下で、様々な議論と企画立案をもって、多くの方々に参画する機会をつくり、取り組みを進めています。しかし、全ての組織の、全ての職場に浸透しているとは言えません。参加された方々には、更に周辺の方々に声をかけていただき、少しでも関心を持ってもらえる活動をお願いします。女性参画の推進は、職場に活力を与え、仕事における創造性を広げ、結果として経営の成長につながるものと信じています。また、女性参画推進として職場環境を変えれば、高齢者にも優しい職場が実現し、そこに働く全ての方々のウェルビーイング向上に資することとなります。

初めての取り組みには失敗もつきものですし、躊躇することもあります。しかし、一歩を踏み出さなければ、目の前の環境を変えることはできません。だからこそ、印刷労連として、全体で取り組むことが重要となります。失敗も成功も全員で享受し、一人ひとりの一歩を力強く踏み出し、着実に前進につなげて行きましょう。

「過去と他人は変えられない。しかし、未来と自分は変えられる」という言葉があります。現状では様々な課題が山積し、戸惑うことも多くあります。だからこそ相談できる仲間の印刷労連が存在します。お互いを尊重し、連携を強化し、未来に向けて共に成長し続ける産業にして行きましょう。

最後に、皆様のご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます。本年も宜しくお願い申し上げます。

佐藤中央執行委員長 トップリーダー宣言

運動方針に「男女平等参画」の目標を掲げましょう!! ～多様で個性が尊重される職場を創りましょう!～

印刷労連は2013年度の運動方針より男女が平等に活躍できる社会の実現を掲げてきました。ゆっくりですが、確実に理解は深まりつつあります。次のステップに進むには、もう少し、皆さんの協力が必要です。一粒の滴が大きな波紋を広げるように、一人の参加が、そして一人の小さな声が結集すれば大きな力となり、周りに共感と共創の輪を広げます。

皆さんが望む「男女平等参画」の職場は、与えられるものではなく、一緒に創り上げていくものです。それが実現できたとき、きっと大きな達成感と自信に繋がります。

まずは、「男女平等参画」の目標を、各構成組織の運動方針に掲げることからはじめましょう。

また、真のジェンダー平等の実現には、高い目標を掲げる以上に、一人ひとりが意識的に行動することが大切であることを忘れないで下さい。

既に具体的な取り組みを進めている組織は、これから取り組む組織に情報提供していただき、推進の後押しをお願いします。そう、私たちは「支え合い、助け合う」仲間なのでから。

年齢も性別も国籍も関係なく、多様で一人ひとりの個性が尊重される職場をつくり、魅力ある印刷産業として発展できるよう、共に協力していきましょう。一人ひとりが一步を踏み出せば、職場環境も社会も変えることができる。

そのことを信じて。

印刷労連 中央執行委員長 佐藤 正治

「もしも」に備え
「もしも」を防ぎ
「もしも」に向き合う。

「みんなですすけあい、豊かで安心できる社会」の実現に向け、皆さんとともに取り組んでいます。



公式キャラクター ヒットくん

たくすけあいの標をむすぶ

こくみん共済 **〈全労済〉**
COOP

こくみん共済 COOPは営利を目的としない保障の主体として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしを実現することを目的としています。この趣旨に実現したとき、出資金を払い込んで居住用または勤務地の共済生家の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

八ろきん × 地球の歩き方



“お金の世界”へ旅しよう
～人生を自分らしく旅するための必読ガイド～

ゲーム動画で学ぶ デジタルブックを見る



編集後記

新年あけましておめでとうございます。本年も皆様にとって良いお年となるよう御祈念申し上げます。

昨年特に関政界では転換点を迎えた年でありました。アメリカではトランプ大統領が返り咲きを果たし、日本では、先の衆院選で立憲民主党や国民民主党が躍進し、与野党の勢力が拮抗しました。今年はそのような年になるのか注目したいものです。

さて、各地方協議会では、新年旗開きや幹事会、ブロック会議が活動のスタートになるかと思えます。

本年も健康で明るく元気よく、一人ひとりが協力し合い、飛躍する年にしていきたいですね。

本年もどうぞよろしくお祈りします。

【教育委員会 勝又紀智】